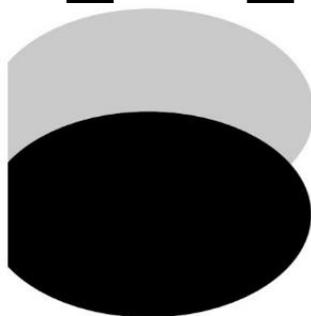


# 20211130

## 絵本学会 NEWS No.71

発行：絵本学会  
発行日：2021年11月30日  
編集：絵本学会広報委員会  
絵本学会事務局：〒100-0003  
東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9F  
(株) 毎日学術フォーラム内  
電話：03-6267-4550  
Mail : maf-ehongakkai@mynavi.jp  
HP : <http://www.ehongakkai.com>



絵本学会

第25回絵本学会大会のお知らせ  
日本学術会議協力学術研究団体の指定について  
絵本研究会主催「2020絵本セミナー」報告  
2021年度研究助成審査結果報告  
フォーラム2020開催報告  
「絵本フォーラム」開催のお知らせ  
寄贈図書・雑誌  
2021年度絵本学会第1回理事会議事録  
理事会メール審議議事録(7-8月)  
新入会員の自己紹介コーナー  
広報委員会企画『春に贈る一冊の絵本』募集のお知らせ  
絵本学会イラストレーション募集のお知らせ  
編集後記

### ■第25回 絵本学会大会のお知らせ■

第25回絵本学会大会は2022年6月11日(土)、12日(日)にオンラインで開催されることとなりました。

研究発表(11日(土)及び12日(日))、作品発表(12日(日)のみ)を希望される会員は、以下を参照してお申し込みください。

#### ◆研究発表募集要項

##### 1. 発表者の資格(応募資格)

絵本学会の会員で、2021年度までの会費を納入済みであること。新規入会者の場合は、2021年1月21日(金)の時点で入会手続きが完了していること。

##### 2. 発表テーマ

絵本及び絵本に関連する研究テーマで未発表のもの。

##### 3. 発表形態および発表時間

Zoomによるリアルタイムの口頭発表。(5月20日までにパワーポイント等の資料をご提出ください。締切後の差し替えには対応できませんので、完成データをご提出ください。資料提出の詳細等については、2022年4月発送予定の大会案内にてお知らせいたします。大会当日は実行委員がZoomを操作してパワーポイント等を全員に画面共有いたします)

発表 20分間 質疑応答 10分間

##### 4. 申し込み期間

**2022年2月1日(火)～2月23日(水) [期間内に必着]**

本紙2ページに記載の「研究発表・作品発表共通【申し込み方法】」にてお申し込みください。

##### 5. 発表者の決定

研究発表は、発表申込者多数の場合、発表要旨に基づいて審

査する場合があります。なお、11日、12日どちらでご発表頂くかは未定です。発表者が確定してから、分野ごとにこちらで割り振りをさせていただきます。発表順・時間等は、3月22日(火)までにお知らせします。

#### ◆作品発表募集要項

##### 1. 発表者の資格(応募資格)

研究発表と同じ

##### 2. 発表作品

未発表の絵本(個人制作、共同制作ともに可)

##### 3. 発表形態および発表時間

研究発表と同様に、Zoomによるリアルタイムの口頭発表を基本としますが、読み聞かせ動画等の公開でも構いません。

(※作品をWeb上で公開するリスクを勘案してご用意ください。パワーポイント等の資料や動画は、当日、実行委員が全員に画面共有いたします。オンデマンドによる公開(口頭発表や質疑応答は無し)も可能です。いずれの場合も、資料や動画は5月20日までにご提出ください。締切後の差し替えには対応できませんので、完成データをご提出ください。資料提出の詳細等については、2022年4月発送予定の大会案内にてお知らせいたします)

口頭発表 7分間 質疑応答 3分間

##### 4. 申し込み期間

**2022年2月1日(火)～2月23日(水) [期間内に必着]**

本紙2ページに記載の「研究発表・作品発表共通【申し込み方法】」にてお申し込みください。

## 日本学術会議協力学術研究団体の 指定について

### 5. 発表者の決定

作品発表は、発表申込者多数の場合、作品紹介要旨に基づいて審査する場合があります。発表順・時間等については、3月22日（火）までにお知らせします。

### ◆研究発表・作品発表共通【申し込み方法】

Google Formでのお申し込みとなります。以下の項目を入力してください。

- ①メールアドレス      ②お名前      ③ご住所
- ④電話番号      ⑤所属及びご職業
- ⑥発表の種別      ⑦発表タイトル・作品タイトル
- ⑧研究発表の方は発表要旨（800字程度）、

作品発表の方は作品紹介（200字程度）

※⑧は、いずれも大会プログラム用です。PDFでの配布となります。

※Google Formへはこちらからアクセスしてください。

<https://forms.gle/91VyexTdJGZhT2sT6>



### ◆その他

- ・受理した原稿等のデータは大会終了後責任をもって消去します。返却は致しませんので、必ず控えをとってください。
- ・発表内容は、再配信等のためにZoomの録画機能を使って記録いたします。当日の記録写真が、絵本学会NEWSおよびホームページを通じて公開されることがありますのでご了承ください。
- ・問い合わせ先：「絵本学会本部」 office@ehongakkai.com



イラスト：井之口真央

絵本学会は、このたび日本学術会議から「協力学術研究団体」として指定されましたので、お知らせいたします（2021年7月6日申請、2021年10月28日認可）。

これにより学会は、社会的に認知された団体として活動できるようになり、発展の礎ができました。

学会は今後、日本学術会議から次のような協力を受けることができます。

- (1) 広報刊行物、ニュース・メール等の配布・配信
- (2) 適当と認められる会議の共同開催又は後援

以上のように、絵本学会は、今後、日本学術会議の活動に協力することを通して、学会としての認知を高めることができます。

なお、日本学術会議へ本申請を行い、「協力学術研究団体」の指定を受けることは長年、会員の願いでありました。この申請に当たり、準備の段階から審査にいたる過程で会員並びに関係各位から多大なるご支援とご協力を得ましたことに感謝申し上げます。今後とも学会活動にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

詳しくは、以下をご参照ください。

日本学術会議会則

<https://www.scj.go.jp/ja/scj/kisoku/04.pdf>

2021年11月12日  
絵本学会 会長：藤本朝巳

## 絵本研究会主催 「2020絵本セミナー」報告

「スズキコージさんたちと語る昔話絵本の魅力—

『ジョージアの昔話 チンチラカと大男』を中心に—

\* 2021年3月14日（日）13:00～16:00 大阪府立中央図書館  
多目的室にて

\* 講師：スズキコージ氏（絵本作家）、片山ふえ氏（翻訳家）、  
鈴木加奈子氏（編集者）



セミナーチラシ

新型コロナの影響で、参加人数を40名に限らざるを得ませんでしたが、感染対策を厳密にして会場でセミナーを開催することができました。スズキコージさんのエネルギー溢る絵が描かれたパティックの布と音楽に包まれて始まり、熱気にあふれたセミナーとなりました。

プログラムは、まず『チンチラカと大男』の絵本を画面に映しながら読んだ後、3人の講師に順にお話ししていただき、その後で鼎談と会場からの質問という順序で進みました。

ジョージアの昔話『チンチラカと大男』は、知恵のまわる主人公のチンチラカが、王さまの命令で山に住む大男から黄金の壺と黄金のパンドゥリ（竖琴）を盗み、最後は大男をつかまえてお城につれてきたが、怒った大男に王さまやけらいたちは呑み込まれた、しかし、チンチラカの策略で大男は山に逃げ帰り、チンチラカが王さまになったというお話です。以下、講演と鼎談の内容について報告します。

（文責：丸尾美保）

1. 「世界のむかしばなしえほんシリーズのこと、『チンチラカのこと』鈴木加奈子氏（フリーの絵本編集者、BL出版の「世界のむかしばなしえほん」シリーズを担当）



鈴木加奈子氏

まず、私から昔話シリーズのことと、『チンチラカと大男』（以下、『チンチラカ』とする）をふえさんとコージさんをお願いした経緯をお話いたします。私自身は子どもの頃、読み物や絵本で昔話に出会ってきました。絵本の編集者になってまた昔話に出会ったのですが、インドを旅したときにたまたま現地の子どもたちから聞いたインドの神様の話が面白く、土地土地に伝わる昔話や神話に興味を持つようになりました。それ以来、耳で聞く昔話の面白さとそれを絵本化した作品の素晴らしさにも改めて気づきました。日本の画家が海外の話を描いた絵本にもいいものがたくさんあって、絵本にするからこそ面白い昔話もあるんだと思うようになりました。耳で聴く昔話を絵本にするのはとても難しいことですが、遠い時代、遠い国の風景や民族衣装などを視覚的にとらえて楽しむ面白さがあります。昔話のリズムと絵本をめくるというリズムが響き合う可能性を考えて本にしていきたいなと思いました。

今回のBL出版刊「世界のむかしばなし絵本シリーズ」を編集するにあたり、「今の時代でも新鮮と感ぜられること」を念頭におき、1.あまり知られていない昔話、2.ページをめくって味わう絵本として、画家の魅力が存分に発揮される面白いおはなし、3.原文に当たることができ、昔話の背景となる文化に詳しく、子どもに向けた文を書いてくださる作者をお願いをする、の3点に留意して探していきました。お話を探するのは簡単ではありませんでしたが、たくさんの資料にあたり根気よく探しま

した。昔話を絵本にする面白さは、前へ前へと物語が進む耳で聞かお話とは違って、じっくりと絵を見てページをめくる「間」もあるので、耳で聞くのとは違う魅力のあるものとして作っていかなくてはと思っています。

もうすぐ10冊目ができるのですが、1冊1冊文章や絵描きさんが決まっていって経緯が違います。[世界のむかしばなし絵本シリーズのリストを見ながら] 1作目の『巨人の花よめ』（菱木晃子文 平澤朋子絵 2018）は、私が北方の先住民族のサーメに興味があって、北欧児童文学の菱木晃子さんに相談をしてお話を探してもらいました。『七人のシメオン』（田中友子文 大畑いくの絵 2018）は、大畑いくのさんが個展のテーマにしていたロシア民話の絵がとても素敵で、そのモチーフとなった物語を絵本にできないかという話になったのですが、絵本にするには長すぎたため、ロシアの民話の中から絵本に合う長さのお話を探していきました。『金の鳥』（八百板洋子文 さかたきよこ絵 2018）は、版画家のさかたきよこさんといつか一緒に絵本の仕事をしたいと思っていたところ、八百板さんのバルカン昔話集の「金の鳥」を読んだときにピタッとイメージが結びついたことがきっかけです。もうすぐ出版される『ヴォドニークの水の館』（まきあつこ文 降矢なな絵 2021）はチェコの河童のようなヴォドニークという妖怪がでてくるのですが、以前中・東欧の昔話集で降矢さんとお仕事を一緒にしたとき、いつかこのヴォドニークがでてくる絵本を作りたいですねと話していたのです。まきあつこさんにお願ひし、ヴォドニークが出てくる話を集めてもらって、たくさん資料の中から絵本に一番いいお話を探していきました。



『チンチラカと大男』表紙

『チンチラカと大男』は、コージさんにジョージアの昔話を描いてもらいたいと思ったのが始まりです。私は子どもの頃にコージさんが描いた『注文の多い料理店』（宮澤賢治原作 スズキコージ絵 三起商行 1987）の絵本に出会って衝撃を受けて、それ以来コージさんの絵に魅了され続けています。2017年に『コーベッコ』（スズキコージ作 BL出版）と一緒に仕事をしたのですが、コージさんが若いときからジョージアが好きで折に触れてジョージアの絵画や映画に親しんでいたとよく伺っていました。私もDVDや本をコージさんから借りたり、コージさんの旅のおはなしを聞いたりするうちに、ジョージアという国に興味をもつようになりました。そして、コージさんにジョージアの昔話絵本を描いていただきたいという思いで、どんな昔話があるのだろうか調べていきました。その過程で、日本語で読めるジョージアの昔話集『五つのぼうけん物語：グルジアの民話』（かんざわとらお訳 小宮山量平編・解説 理論社 1977）から「チンチラカのちえ」を見つけました。典型的な昔話の流れがありながらも、どこか飄々としたチンチラカ、わがままな王さま、とぼけた大男、しゃべる楽器のやりとりが新鮮で面白く、山にかかった橋の向こうの大男というイメージがコージさんに描いてもらったらすごい迫力になるだろうとも思いました。後でこのお話はジョージアでありポピュラーではないとわかったのですが、大男が自然の脅威を、黄金の壺がワインを、しゃべる楽器が音楽を象徴しているのかなと思えばぐらすと、山々に囲まれて暮らし、ワインや音楽を愛するジョージアの民族らしさも入っている話かなとも感じます。また、仮のページ割をしてみたら、お話のリズムと絵本のページをめくるリズムがピッタリ合ったので、このお話は絵本にできるのではないかと考えました。

ジョージアの民話を調べている過程で片山ふえさんの『コーカサス民話集 森の精』（東洋文化社 1980）に出会いました。この民話集はロシア語版テキストからの翻訳ですが、ジョージアの豊かな物語をふえさんの魅力的な文で紹介されていて、解説も読み応えがありました。ふえさんは、ロシアや旧ソ連を中心にさまざまなアーティストを紹介するムーザサロンも主宰しておられます。著作を読んだり、お会いしたりするうちに、ふえさんのファンになり、力添えをお願いしました。このお話はすごくよく知られているわけではないため、ジョージア語でもロシア語のものでも原典探しに難航しましたが、ジョージア日本友好協会のタチアナ・チェジアさんをはじめいろいろな方に協力していただいて、やっとジョージア国立図書館のジョージア語の民話集の中に見つかったんです。タチアナさんがロシア語に訳し

てくれ、それをふえさんが日本語にして、ていねいに文を磨いてくださいました。昔話の骨格を大切にしながら、軽やかな会話のやりとりなどが含まれるチャーミングな文章が完成しました。

[コージさんが束見本に描いたラフを見せながら] 文章が固まってからコージさんに絵をお願いしましたが、ほぼ完成版と同じものをすぐに持ってきてくれました。ラフも本描きも迷いなく楽しんでくれて、イメージがどんどん湧きあふれる感じでした。本描きでは橋の傾斜をページの向きにしたり、大男が入った箱を最初はチンチラカが担いでいたのを車の付いたものにしたところなど、ラフから少しだけ変更されたところもあります。ユーモラスでダイナミックで本当にうれしい絵本になりました。

## 2. 「ジョージアの国と昔話『チンチラカと大男』」片山ふえ氏 (ロシア文学翻訳家、ムーザサロン主宰)



片山ふえ氏

みなさま、こんにちは。加奈子さんがほめてくださったので、緊張してきました。今回の絵本の仕事をいただいたのは本当に幸せなことでした。私が選ばれたのは、ジョージアの、当時はグルジアでしたが、民話や伝説を訳したことがあったからなのです。私は大昔に卒業論文をロシア民話をテーマに書いたことがあり、その時に師事していた先生からグルジア民話集『森の精』の翻訳を勧められたことがきっかけでした。たまたま出会った『森の精』は子ども向けではなかったのですが、その時にジョージアの歴史などを調べてみて、なんて素敵なお国だろうと思い、いつか行ってみたいという夢を抱き続けていました。実際にジョージアの地を踏んだのは10年前、その後もう一度行きまして、知れば知るほど素敵なお国だなという思いが湧いてきました。今回ジョージアの昔話の翻訳をしないかというお話をいただいた

ときは本当にうれしくて、そのうえ、昔からファンだったスズキコージさんが絵をお描きになるということで、しあわせな出会いになりました。

ジョージアは2015年まではグルジアと言いました。でも本当はグルジア語ではサカルトベロと言うのです。コージさんはサカルトベロと頑固におっしゃいます。ジョージア語は独特な言葉で、文字は周辺の国と同じように見えるのですが、実は独特な文化と文字を持った国です。ジョージア出身のお相撲さんがいたりして、国名ぐらいはご存知かと思いますが、詳しく知っている方は少ないのではないのでしょうか。まず、ジョージアについて簡単にお話ししたいと思います

[パワーポイントでジョージアの地図や景観を見せながら] このあたり一帯をコーカサス地方と言います。ここに位置するジョージアはヨーロッパから遠いように見えますが、黒海を渡るとそこはギリシャで、ギリシャ神話には、金の羊の皮を求めて王女メディアの国にやってきたイアソンの話や、人間に火を与えて永遠に巖に縛られたプロメテウスなど、今のジョージアを舞台にしたものがいくつもあります。一方こちらの地図にあるナガルノカラバフという地名を聞けばご存知の方もいるでしょうが、現代の生々しい緊張が続いている地域にある国だと分かります。チェチェンとかアブハジアとか、近年耳にするのはこの辺のことです。

コーカサス山脈に覆われたジョージアは日本の5分の1の面積で、400万人ぐらいが住んでいます。首都はトビリシです。大きな近代的な都市ですが、4世紀にできた要塞があったりします。ジョージアは国全体がコーカサス山脈に位置していて、4000m級の高い山が多い国です。5000メートル級の山も連なっています。そんな自然の中で暮らしている人々は今でもかなり多く、近代的な都市に住んでいるのは、例えば首都トビリシですと、総人口の4分の1くらいです。[アグラヴィ川の写真を見せながら] ひとつの川の中に白い川と黒い川が合流して、交わることなくそのまま流れている不思議な川もあります。

こういう所ではいろんな伝説もお化けも出てくるだろうなと思いました。山の空気に触れていると自然に対する恐れと敬う気持ちが生まれくるのは当然だと思います。古い時代から、自然を恐れ敬い、自然と何とか共存することで暮らしが成り立っていました。彼らの中にはいろんな掟があって、アニミズムなのですが、山には山の、川には川の神様がいて、契約をむすんでいろんな神様と仲よくやっていました。ところが、これもジョージアだけではないのですが、キリスト教が入ってくるとそれまでの自然信仰が邪教として葬られていくわけです。

[古い教会の写真を見せながら]ジョージアは古くからのキリスト教国で、1世紀ぐらいからキリスト教が入ってきました。4世紀には聖女ニノが来て、積極的にキリスト教の布教を始め、全土に拡がりました。今でも古い教会がたくさん残っています。キリスト教が広まると、古い神々は悪役になっていきました。典型的なのはダーリとかアーリとか言われる森の精です。髪の毛の長い女性の神様で、真心を尽くすと応えてくれる。ただしそれは男性だけで、女性は森に入ることはなりません。彼女は美しい若者が森に入ってくると獲物をたくさんくれるのですが、一つ間違えると命を取られる。そのダーリもキリスト教が入ってくると悪い魔女になって、伝統の登場人物に姿を変えていきました。

[デフの画像を提示]『チンチラカ』に登場する大男は「デフ」といい、頭に角のあるデフの絵を見ると日本の鬼のようですね。この絵では目や頭が1つのもや3つのも、角があるなどいろんな形態がありますが、ちょっとすとぼけていて力が強く、危害を与えるというジョージア民話の典型的な昔話の悪役です。今回のチンチラカの話は3回くり返しなど典型的な昔話のパターンを踏まえながらも、デフのお人好しぶりとか、高い山などジョージアらしさが残っているものではないかなと思います。なんといってもジョージアからいっぱいエネルギーを持って帰って来たコージさんが描いてくださった山が、当地で感じた野生のエネルギーを彷彿させるようで、本当にいい仕事に参加させてもらえたなと思っています。物語の結末を変更することになりましたが、そのことは鼎談でお話ししたいと思います。

[民族衣装と肖像写真を見せながら]ジョージアの民族衣装は美しく、国民は黒い髪的美男美女が多いのですよ。右の写真の大統領は女性でお名前をサロメさんといいます。新約聖書に出てくる女性の名前で、オスカー・ワイルドの戯曲で有名ですね。メディアさんという女性も普通にいたりして、ギリシャ神話の世界のようで、日常とは違う世界だという気がします。ジョージアと言えば美味しい料理も美味しいお酒もあり、ワインはジョージアが発祥の地です。後でコージさんがそのあたりのことはお話ししてくださると思います。

### 3. 「『チンチラカ』制作とジョージアへの思い」スズキコージ氏 (画家、絵本作家)



スズキコージ氏

[真ん中が抜けたマスク姿で] こんにちは。このマスクは、お家でアイロンかけてもらったら溶けちゃったの。捨てられなくてね。このマスクを付けてアーサー・ビナードと広島で対談したり、展覧会をしました。コロナが始まって、宮澤賢治の『北守将軍と三人兄弟の医者』（三起商行 2021.10）の大長編の絵を描き、近々出版されます。[新しい本の原本を見せながら] まだ編集者だけしか見ていないんですけどね、7月にBL出版から『天のすべりだい PARAISO SLIDER』が出ます。カバーを取ると表紙は油性のボールペン1本で描いたPARAISO SLIDERのタイトルと白黒の絵、裏表紙はメキシコの「ディア デ ムエルトス 死者の日」の絵です。メキシコには僕、8回も行っていても、要するに日本のお盆なんですね。メキシコでは11月1、2日あたりに死者があの世界から帰ってくる。骸骨の砂糖菓子、ピンクだったり、黄色だったり、コバルトブルーだったり、そういうのを祭壇に飾って、死者が天のすべりだいでサーッと滑って戻ってくるから、迎えて、死者と一緒に踊ったり飲んだりするって僕向けのお祭りですね。

今日はサカルトベロ（ジョージアの本国での呼び方）の話ですね。サカルトベロには3年ほど前の正月に行きました。まず税関で俺の目をじっと見て、グルジアワインを1本出してきて、どうぞ入国してくださいと言われた。びっくりして、ここはほんとに良いところだと思いました。僕が行ったとき、ディマという絵描きが車に乗せて案内してくれました。ディマはジョージア映画祭の主催をしている岩波の友人に紹介してもらいました。ディマはパラジャーノフ（1924-1990 旧ソビエトの映画監督・脚本家。トビリシ出身のアルメニア人）の甥かな、アルメニアの国境近くまでいろんな所に案内してくれました。

僕がグルジアに惹かれたのは、絵描きのニコ・ピロスマニが大好きで、『ピロスマニ』(ゲオルギー・シェンゲラーヤ監督 1969)という映画もあるが、絵が素晴らしい。日本で言うと少し茂田井武さんのような存在です。[画面でピロスマニの絵を見せながら]彼はトビリシの町で看板絵描きをやっていたんですね。看板を描いて一宿一飯で絵を描き続けたんですね。貧乏だったので絵の具を買うのも苦労しました。「赤いシャツの男」の絵がありますね、赤い色は絵描きに言わせると、めちゃくちゃ高い絵の具です。彼は絵のバックが黒地なのが特徴で、キャンバスが買えなかったので全天候型の覆いや梱包用の真っ黒い布を木枠に張って、真っ黒いキャンバスだったんです。彼はこういう直立不動の絵が多い。僕の絵は落ち着きのない絵で、丸木位里さんが、東京で一緒に展覧会をやったときに「明るい絵じゃのう」と言ってくれて、まだ30代の頃で嬉しかった覚えがあります。僕も2月28日になんと73歳になりました。イエイ！ [拍手]

この服は「そんなことアルマーニ」と呼んでいます。これは東京にいた頃、20年ぐらい前に雪が降っているのに裸にネクタイのジプシースタイルで青山の居酒屋で飲んでいたら、映画会社の社長が自分の服を脱いで着せてくれたもので、捨てられなくてポロポロになったけれど大事に着ています。みなさんにお見せしようと特別に着てきました。ヘイ！

『チンチラカ』はふえさんから文章をいただいて、描きやすいのなんの、どんどん描けて、編集の加奈子さんの言うこともハイハイと聞いて、社長の落合さんもなんにも注文をつけなくて、めちゃくちゃやりやすかった。僕もトビリシに行って、向こうの人と仲良くなって飲んでいて、日本人は何人いるのですかと聞くと、日本大使館の児島さんがトビリシに日本人は34人かな、バレリーナと橋やトンネルを作る鹿島建設の人と言っていた。

僕も子どもの頃、野原にトンネルを仲間と掘ってね、畑の向こうに出るぐらいまで掘って、腹減るとうちに帰る。いつも野外生活、レンゲが田んぼにきれいな紅色で蜂もチョウチョもいっぱいいるところに寝っ転がって空を見ていた。僕の所は浜松のど田舎だったから、遠州の空っ風と言ってね、風通しのいいところだったけど、肥やしの匂いがぶーんとして、それがあたりまえでした。そのうち小学校に行ってね、絵日記を書くのが得意で楽しみでした。おっかさんが全部とっといってくれました。ところが3年生頃に先生からこれからは文章だけにしようと言われてガッカリした。絵が得意だったので、先生に頼まれて放課後に残って黒板に季節や催しものの絵を描いていた。

……続きは鼎談で。

#### 4. 鼎談 (司会：丸尾美保)

一後半は昔話絵本の魅力を中心にお話をうかがいたいと思います。スズキコージさん、昔話絵本は他の絵本と絵の描き方のコンセプトが違うところがありますか。

(スズキコージ：以下コージと記す)あまり日頃考えていないのですが、昔話は今だと思っているんです。今僕たちが時間を過ごしていることもそのうち昔話になるわけです。だから分けていないっていうか、『チンチラカ』は昔話、だけど人間が大自然と生きてきたことは変わりがないわけですね。今の人間は大自然を痛めつけていますが、『チンチラカ』の時代はまだ信じる力も満ちあふれていたかと、ふえさんの文章をもらって感じた。

昔話は今と思っているんです。



鼎談風景

一ジョージア旅行で、ワインや美味しいものを食べたことなどが絵本に出ていますか。

(コージ)ふえさんはジョージアに2回かな、僕は3年前に1回行ったただけだけど、ディマにコーカサス山脈のワインを作っているところに連れて行ってもらいました。人間がひとり入れるくらい大きな壺が地面に埋めてあって、お椀みたいなものでくって飲めって言われて地面に這いつくばって飲みました。犬が来て、赤ん坊もじっと見つめていて……。チュルチュヘラという糸でつないだナッツ類をぶどう汁に何回も浸して干し固めたお菓子や、ヒンカリというシャオロンポーのような熱い食べ物を食べました。山はピロスマニの住んでいた村のあたりは、コーカサスの山々が見えて絶景のところで、村に住むニワトリや犬の音がして、ディマとそこに行ってグルジアワインを飲んだ。……僕は山はどっちかというところから見るタイプだけど。

一先ほどふえさんが、結末のところが変わったとおっしゃっていましたが…。

(片山ふえ：以下ふえと記す) 本来民話というものは自然の脅威を擬人化したもので、弱い人間が先ほどお話ししたデフのような悪役を知恵を出してこらしめる、自然を征服したいという思いがこもっているものなのです。だから、原則として物語の最後は自分たちを困らせる自然界の脅威は滅びなくてはいけないんですね。本来の民話は人間がそれに打ち勝つもので、ジョージアの方に訳してもらった『チンチラカ』も結末は、デフ(大男)は焚火に飛び込んで死んでいるんです。そもそも民話はきれいごとばかりではないので、その通りに訳したのですが、加奈子さんから最後を変更してはと言われました。どうしてデフを救済したかについては加奈子さんに説明してもらいます。

(鈴木加奈子：以下加奈子と記す) とても難しいところだと、本当に悩みました。私も民話は悪者や自然の脅威に打ち勝つものとして語られていると思いますし、昔話をたくさん読んでいくと、こういうものだとずっと受け入れることができます。ただ、かわいそうとか、この結末はどうなのかとかの意見をいただくこともあり、このことはよく考えました。むかしの人たちは自然をコントロールできないもの、だからこそ物語のなかでだけ勝てるものとして語りついできたのではないかと思います。でも現代では生活様式も価値観も多様化し、大男を人間生活になじめないマイノリティの象徴のようにとらえる方も多感じています。昔話の骨格を大事にして、安易に変えてしまうことはしたくないと思っていますが、昔話は時代時代で変化があり、語りつがれていくうちに生きもののように変わっていくという面もあるとも思います。出版社からのご意見、ふえさん、コージさん、それぞれのお考え、耳で聴く昔話と絵本の違い、文と絵がひとつとなってイメージが伝わること、今の子どもたちに届けるということ、読者の想像に委ねること、さまざまな方面から考えていきました。その上で、死ぬというテキストをはずしても、大男が焼かれることで、チンチラカが打ち勝つということは受け取ってもらえるのではと思いました。

(コージ) 僕は文章を書く人が一番大事だと思っていますので、ふえさんの文章をもらって、大男は逃げ帰ってどこかで生き延びているのだと思って描いたんですが。ふえさんは死ぬようにしたかったのですか。

(ふえ) 私自身がしたかったというのではなくて、民話学をかじった立場からすると元々の人々がここに込めた思いを守りたいと思っていたので、そこを変えるのは抵抗があったのですが…『まんまるパン』(ロシア民話 片山ふえ訳 Yoko-Ban人形 群像社 2015)という絵本を創ったことはありますが、あんまり絵本はやっていなくて。でも、子どもの本になるとときには気をつけて、絵本の昔話を作るのはそういう方法があるのだなと今回勉強させてもらいました。

(コージ) アンデルセンの話は、かなしい終わりのやめでたしで終わらない話が多くて今風と思うし、僕は昔話は今だと思っているわけだから。昔話となるとどうだろう。こればかりは表現の自由は大事で。20代後半の頃『はずかしがりやのおつきさん』(『こどものとも』258号 福音館書店 1977.9)という絵本を描いたとき、月に顔を描いていたのを編集者がとってくれと言ってきた。擬人化の表現なので困ったが、編集会議で多数決をして決まったとか言われて、編集者と行き詰まったことがありました。結局とりました。「ひろばであそぼ」という絵で木から飛び降りている子どもを描いたら危ないと文部省がケチつけたり、文部省は片山健さんの子どもの絵が何頭身かを計って描き直すように注文を付けたり、織茂恭子さんがお家で食事をしている絵でパパやママが空を飛んでいる風に描いたら、シャガールはいいけど駄目と言われたり…、それはないよね。そんなことありましたけど。まだたまにあるよね。編集者と作家の意見が違うことが。

一個人的な考えですが、『チンチラカ』の絵本では大男は人間に悪いことをしていないのにひどい目にあうので、もし結末で死ぬとなったら物語の作りを変えなくてはならなくなるように思いますが。コージさんは先ほど大男のことを自然の象徴と言われましたね。

(コージ) 大自然は大津波や地震など脅威だが、いいこともわるいこともある。自然の恵みだと思って暮らしていくのが、賢くて喜びも多いだろうなと思っているわけです。僕は最後にチンチラカがきれいな王女と結婚するのではなく、兄弟を呼んで男3人で暮らしていくのがユニークで珍しいなと思って描いたのですが、どうですか。

(加奈子) この話には女性が出てこないのですが、楽器の黄金のバンドゥリを女性にすると良いかもとふえさんが言って、最初男性言葉で訳していたのを、「たいへん、たいへん！ チンチラカがつぼをぬすみにきたわ！」と女性言葉に訳されて、このバンドゥリの存在がお話の中でより効いてきたように思います。最後は男性だけの兄弟で暮らしますが、ジョージアでは男性の友愛の精神が貴ばれていると聞いたことがあるのですが？

(ふえ) 私自身は最後にユニークだとは全然思わなかったのですが、それは他にもそんな話がいっぱいあったからだと思います。そう言われてみれば、ジョージアには男の友情が美しいとされている風潮があるかと思います。ピロスマニの映画にも男どうしの友愛の話が多く、女性が出てきませんものね。

(コージ) 僕の友だちがジョージアに行って、男連中と円座になってワインを浴びるように飲んで歌いだすんですよ、輪唱して。あそこでは女性は輪に入れない。あと、略奪結婚もあるんだよね。

(ふえ) 『ピロスマニ』の映画にも出てきたのですが、都市部ではもうないのですが、村あたりではまだ残っているかもしれない。女性を抱えて家に連れ込む略奪結婚が認められているのです。親も公認、社会も公認でそこで結婚式をする、そういうことがまだあるようです。

(コージ) 僕は、兄弟揃って楽しく暮らしましたというのが面白いなと思って描いたわけです。

一加奈子さん、『チンチラカ』は3回くり返しをきちんと守っていますが、絵本の編集ではそれをだいにされているのでしょうか。

(加奈子) 特にそういうわけではなく、1冊1冊面白いものができたらいいなと思って制作をしています。この話には昔話の典型である3回の繰り返しがあ、それも魅力のひとつですが、それで選んだというよりは、飄々としたチンチラカとか、とぼけた大男とか、喋るバンドゥリとか、わがままな王さまとのやり取りが面白いなというのと、山々の向こうにいる大男とコージさんの絵がむすびついて、絵本にしたいと思いました。



会場風景

ーコージさんは3回の繰り返しを同じ構図で描いていますね。

(コージ) 楽しかったですよ。吊り橋の3回の場面は、季節を違えたり、抱えている物もちがったり、「こんどあったら、おまえを子分にしてやるよー！」というチンチラカのセリフが面白くてね、描きました。チンチラカが大男を閉じ込めた箱は、あんな絵は僕は得意でね。2019年に親父が100歳と6ヵ月で亡くなったとき、棺桶にあんな絵を娘と合作で描きました。親父は喜んでいたと思うよ。青山のちっちゃなギャラリーで個展をやったとき大工さんに棺桶を作ってもらって、絵を描いて置いていたら、岸田今日子さんが見に来てくれて、私も棺桶に絵を描いて欲しいと言われたけど、亡くなったときには時間もなくて実現しませんでした。

ーコージさんは岸田衿子さんと『ゆきむすめ』（岸田衿子文 鈴木康司絵 世界文化社 1973/再刊：ビリケン出版 2005）の絵本を作ったり、内田莉紗子さんのロシア昔話集の挿絵を描いたり、『きゅうりさんあぶないよ』（ズキコージ作 福音館書店 1998）などロシアに関係した作品が多いですが、ロシアに対する特別の感情とか思い入れとかありますか。

(コージ) なぜだろう、出会いだね。ロシア関係の人とやたら出会って、新宿でフーテンのようにして絵を描いていた頃、天ぷら屋さんで働いていた早稲田の露文科の井上さんという人、もうあの世へ行っちゃったけど、彼がロシアのABCを紙に書いて教えてくれたり、狭いアパートで焼酎飲みながらヴァスネツォフの『3びきのくま』の絵本を見せてくれたりしました。なんどもめくって見たけど、すごく印象的だった。ロシア語と言えば、ギャラリーの企画で布に絵を描いて切り売りして販売したとき、ロシア語辞典を持っていましたから、「昔話」という言葉をキリ

ル文字で書いて白黒の絵の中に組み込んで、それでアロハシャツを作ったことがありました。ハンガリーのブダペストの日本週間があったときに、それを着ていったときには、東欧の人にはロシア語が面白くなかったようで……、そんなことがありました。東ヨーロッパにもあちこち行っています。

—『チンチラカ』の絵本は緑色がとても印象的ですが、緑色に思い入れはありますか。

(コージ) そうなんです、今度BL出版で出る画集『天のすべりだい』は、この緑が使いたかったのですね。北海道の山で断食した人によると、どうも人間というのは1週間ぐらい断食すると透명한緑色になるらしいんです。そういう風を感じるんだって。

『天のすべりだい』はコロナのおかげで誘惑を絶って51枚の絵を描いて、[試し刷りの本をカメラで写して見せる] この絵も緑色にしたかったし……僕の新しいアルバムが出るようでうれしい、コメントがだーっと入っていて、後にぼくの旅のエッセイもはいていますけれども。

—ヴァスネツォフの『3びきのくま』も緑色の表紙ですね。絵本の作り方は全く個人的に学んだのでしょうか、なにか、他にお好きな絵本やお手本にしたような絵本はありますか。

(コージ) ドイツのハインリッヒ・ホフマンの『もじゃもじゃペーター』とか、ウィルヘルム・ブッシュの漫画の原典絵本とされている古典ですね。『もじゃもじゃペーター』はかなり過激な絵で、マッチ遊びしたパウリンチャンが燃えて灰になって、2匹の猫の涙が川になって流れている絵など、さっきの昔話の原典の話にもつながると思うのですが、残酷な終わりかたをしています。瀬田貞二さんがハインリッヒ・ホフマンの絵本を「愛すべき毒」だという言いかたをしていますけれど、僕自身必要だなあと考えていて、こびりついていますね。どんな残酷で終わろうと、愛すべき毒から発生していたらOKと思います。『もじゃもじゃペーター』はペーターがジミ・ヘンドリックスよりもすごい髪して爪も長くて、ショッキングな表紙で忘れられない。

—それでは、会場からの質問にお答えをお願いします。まず、鈴木加奈子さんに、個性的な作家や画家を結びつけるコーディネート力、コーディネートの秘訣はなんですか。

(加奈子) 本作りは1冊1冊全く違うので、毎回ゼロから考えて問い続けるしかないと思っています。いろいろな角度から考えイメージしていき、最終的には作家さん画家さんが楽しんで思いつきかいていただくのが本の力になるのかなと思います。そして自分も作家さん画家さんの素晴らしい仕事に力をもらいながら編集しています。

—鈴木加奈子さんの最初の絵本編集について教えていただけますか。

(加奈子) 一番最初は、出版社で編集のお手伝いとして、角野栄子さんの絵本を担当している先輩と一緒に角野さんのところに行っていました。その時覚えているのは、角野さんにお会いして、絵と文章が合わさったものを本の形にきちんと切って再考してみることが大事だと教えていただきました。22歳の会社に入ったばかりの頃でしたが、いつも絵本を創るときには仕上がりの形に作ってみるといことは、今も大事にして必ずやっています。

—コージさんは始めから仕上がりの形の絵本の姿が見えているのでしょうか。

(コージ) 最初の頃は好きな絵ばかり描いていた人間ですから、絵本という舞台があるのを知ったのは18歳頃で、堀内誠一さんに出会って国内外の絵本を見せてもらったり、福音館書店に連れていってもらったりしたのがはじめです。どうやって作るのかさっぱり分かりませんでしたね。だんだん自分なりに絵本は文が入るんだとか分かってきて、そのうち自作自演の『エンソくんきしゃにのる』（『こどものとも』通号364号 1986.7/「こどものとも絵本」：1990）などつくった。あれは『こどものとも』で堀内誠一さんが「ちびくろサンボ」を堀内誠一流に描いたら人種問題でひっかかって、ピンチヒッターで作ったんです。昔から車が好きですからどんどん描けて、名前も遠足に行くエンソくんに決定して、あつという間にできました。それがとても好評になって、いまだにささやかな印税が送られてきて、賢い息子ですね。

—片山ふえさんにお尋ねですが、翻訳するときが一番大切にしているのは何ですか。

(ふえ) 絵本の翻訳に限らず、一般論でいいでしょうか。25年間以上ロシア語の翻訳勉強会をやってきて、やればやるほど難しいものだなと思っています。翻訳者は自分の文章にしてはいけないと思っています、きれいな日本語にするのがいいのではなく、原文のごつごつした文章や悪文のように見える長い文章なども、作家の呼吸を生かして、日本語とロシア語は構文が違うのですが、できるだけ元の文章から感じられるリズムを出せるようにしています。二十年以上翻訳勉強会を十数人でやってきてつくづく思ったのは、個人によってひとつの言葉に対する感覚も違っているので、翻訳者は思い込みで陥らないように、なるべく他の人に見てもらう機会があればしあわせなことと思います。

一片山さんにもうひとつ質問です。チンチラカの登場する他の話はありますか。

(ふえ) チンチラカという名前についてですが、ジョージアの人にかがったところ、特別な意味はないそうです。チンチラカは昔話によく出てくる名前だそうです、今でもチンチラカとなんとかかいうような子ども向けのお芝居をやっています。ジョージア語ができないのがネックですが、ロシア語で検索するとチンチラカはロシアのイワンのようにいろいろな話に登場しています。

ーコージさん、さきほども話に出ましたが、次の質問は『チンチラカ』は黄緑・緑色が目立ちますし、見返しの緑色の切り絵も素敵ですが、緑色に思い入れがありますか、というものです。

(コージ) 指摘されてさっきからなるほどなあと思って聞いていました。自分では分かってないんですが、時期によってブルーが素敵だという人や、『ブラッキンダー』(スズキコージ作 イースト・プレス 2008)の表紙のピンクがいいと言ってくれる人もいます。もともと白黒の絵で始まった人間だから、黒いペンがあればどこでも描けるわけで、そのうちポスターカラーも安く手に入るようになって、ポスターカラーでどンドン色を付けてね。この前、堀内誠一さんのお嬢さんの堀内花子さんから電話が入って、「コージスキンの18歳の絵が見つかったよー」とかって。堀内さんに3冊ぐらいスケッチブックをあげたのが見つからなくて、僕はなくなったと思っていたら発見されたらしくて、月光荘の大判のスケッチブックにぎっしり描いているからさわると崩れそうで、大事に保管していますから、そのうち見に来てくださいねということでした。(司会: そのうち公開していただくとありがたいです) そうね、僕が死んでからじゃないかしら。僕は、莫大な絵があるものだから、多分北海道の知床半島から八重山諸島ぐらいまで並べるときっとあるよね。

ースズキコージさんがジョージアに行ったきっかけは、ピロスマニの影響ですか。

(コージ) ピロスマニは、竹橋にある近代美術館で世界のナイーブアート展があって、黒地に直立不動の絵があって、一本の楔を心臓にうたれるようにドーンと衝撃をうけました。この人、きっと学校全然行っていないなとすぐに分かって、僕も無学で、東京に出ているんな美術学校に潜りで行ったが、この人は放浪の絵描きでした。『ピロスマニ』という映画はDVDで手に入りますからぜひ見てください。ゲオルギー・シェンゲラーヤ監督(1937-2020 旧ソビエトとジョージアの映画監督・脚本家)に僕は東京で2回会って、映画の裏話など聞きました。去年昇天しましたが、日本の狐伝説の映画を撮ろうとしていて、脇役で僕も出ることになっていましたが、グルジアでロシアとの紛争が起こって駄目になりました。セルゲイ・パラジャーノフの映画もご存じなかったらぜひだまされたと思って見てください。

ースズキコージさんのようにたくさん絵を生み出すのはどうしたらいいでしょうか。

(コージ) 泉は枯れずに永遠にゴボゴボ出ていて欲しいですね。18歳頃押し入れに住んで高校に通っていたころ、頭のとっぺんがドーンと開いて大爆発が起こってまだ噴火が続いていますから、親父やお袋のように長生きできるかわかりませんが、描けるところまで描いて行きたいと思います。

ースズキコージさん、片山ふえさん、鈴木加奈子さん、今日はありがとうございました。

## 2021年度研究助成審査結果報告

協議の結果、1件の応募について不採択としました。2021年度の研究助成は0件という結論に至り、理事会で承認されました。

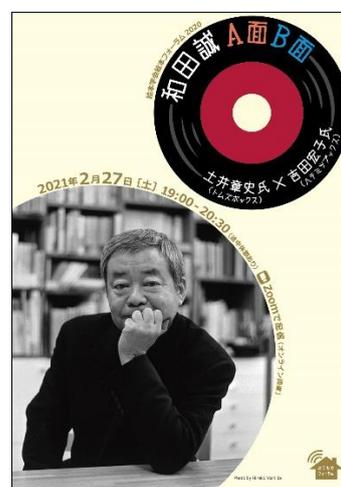
今後の研究助成につながるよう、申請要綱や申請書の改訂について検討中です。2022年度研究助成の募集については、次号絵本学会NEWSにてお知らせします。



イラスト：山田白百合

## フォーラム2020開催報告

絵本学会の企画委員は、毎年フォーラムやワークショップの形をとり、作家や編集者などの絵本の作り手と、読者をつなぐ活動としてイベントの企画運営を行っています。旧企画委員（今田企画委員長、長野理事、甲斐会員）の活動としては最終年となった2020年は、春から長らく続いたコロナ禍の中で、夏に予定していた美術館との共催企画が、展覧会自体の延期により実現できず、人を参集してのフォーラム開催の目的が立てられないままに時がたち、最終的には2月27日（土）に、フォーラム2020「和田誠 A面 B面」と題し、ライブ配信（Zoom利用）の形をとりました。



フォーラム2020チラシ

熊本での第23回絵本学会大会が延期となったことで、絵本学会の行事としても、約1年ぶりのイベントでしたが、企画委員会の活動方針はそのままに、コロナ禍でいろいろな制約がある中でも、自宅から気軽に参加できるよう「おうちでフォーラム」として、開催日時を土曜の夜に設定し、参加費を無料にするなど、たくさんの方に参加していただくためにはどのようにしたらよいか委員間で企画を練り、ライブ配信の手法など、今までにはない検討も多々行いました。

フォーラムの情報拡散や、Zoomアドレスの周知のために、Twitterアカウント「絵本フォーラム」を立ち上げたことも新しい試みのひとつです。結果として、Twitterを通じて和田誠事務所ほかたくさんの団体、個人が情報のリツイートをしてくださり、当日は140名を超える参加者に恵まれました。



吉田さんと土井さんツーショット

企画自体は、西荻窪にある絵本の古本屋トムズボックスから2019年に惜しまれながらもこの世を去った和田誠さんご縁のあったおふたりの編集者、土井章史さん（トムズボックス）と吉田宏子さん（ハチミツボックス）をお迎えし、2部構成の対談形式をとりました。A面担当の土井さんからの話題提供は、私家版を含む貴重な初期絵本の紹介や、担当された絵本の編集を通じて生じた和田さんとの数々のエピソードをお話いただきました。B面担当の吉田さんからは、絵本以外の仕事の紹介ということで、編集された書籍「時間旅行」（玄光社）ほか、より子ども時代のイラストや、貴重な原稿、和田さんの仕事場である和田誠事務所の写真など豊富な画像の提示があり、和田さんとの思い出や関わりを土井さんと熱く語りあう姿が印象的でした。おふたりとも和田誠さんへの愛が強く、予定の時間を30分ほど延長しましたが、参加者のみなさんから頂いた質問にもゆっくり応じられたことは、帰り時間を気にすることのないライブ配信の魅力のひとつだとも感じました。140名を超える参加者の中には、和田レミさんや南伸坊さんの姿もあり、フォーラムの最後には、土井さん、吉田さんの呼びかけに、マイクをミュート解除して応じてくださるサプライズ出演で、参加者から歓喜のコメントが飛び交いました。

後日、吉田さんから和田レミさんがとっても温かい会で楽しかったと嬉しい感想をいただいたと伺いました。参加者それぞれが別の場所で視聴していても、参加者同士活発なチャットのやりとりがあって、互いが身近に感じられるそんな不思議な時間でした。対面の良さ、ライブ配信の良さそれぞれありますが、ひとつ企画の在り方としていろいろな可能性を感じられる機会でもありました。



当日のよしださんのスカート  
（和田誠デザインのファブリック使用。  
細かなところにも和田誠愛あり）

（文責：甲斐聖子）

## 絵本フォーラム開催のお知らせ

今年度はテーマを「コロナと絵本」とし、絵本に関わる講師お二人をお迎えして、新型コロナのなかで絵本の現場ではどのような本を作り、どのように届けたのかを振り返ります。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

### 絵本フォーラム2021「コロナと絵本」

ゲスト：いりやまさとしさん 絵本作家  
山縣彩さん 絵本編集者

日時：2022年2月2日（水）～2月16日（水）

開催方法：期間限定で動画配信（オンライン開催）

定員：150名程度

参加費：無料

申し込み開始

絵本学会会員：12月15日（水）9:00～1月20日（木）20:00

一般参加者：1月10日（月）9:00～1月20日（木）20:00

申し込み方法：QRコード、もしくはURLからの電子申請（Googleフォーム）。

申し込みいただいた方に、2月初旬に動画のURLとパスワードを送信します。

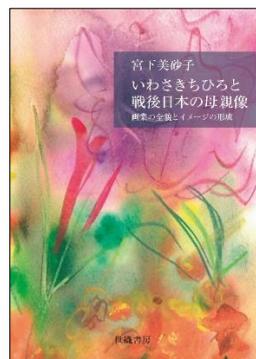
問い合わせ先：絵本学会企画委員会

ehongakkai.kikaku@gmail.com

詳細は、チラシおよび学会ホームページをご覧ください。

## 寄贈図書・雑誌

- ・宮下美砂子著『いわさきちひろと戦後日本の母親像』（世織書房、2021.8）  
寄贈者：宮下美砂子
- ・『第37回 日産童話と絵本のグランプリ 童話・絵本入賞作品集』  
寄贈者：一般財団法人大阪国際児童文学振興財団
- ・『児童文学連続講座講義録 10代に手渡す物語-ヤングアダルト文学総論』（2021.9）  
寄贈者：国立国会図書館国際こども図書館
- ・サトウヒロシ作・絵『おかしのかみさま』（2021.11）  
寄贈者：ピースライフジャパン 絵本屋.com 代表 今井秀司



# 2021年度絵本学会第1回理事会

## 議事録

日 時：2021年6月19日（土）19：00～21：50

於：オンライン

出 席：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）  
佐々木由美子（事務局長） 甲木善久 鈴木穂波  
長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜 宮崎詞美  
山本美希

記 録：佐々木由美子

\* 次回、丸尾美保。以後、五十音順で担当

### ◆ 総会議事録の承認

総会議事録が承認された。

### ◆ 審議事項

#### 1. 事務局業務委託の契約書について

資料に基づき、検討を行った結果、契約期間、受付論文数など、委託業務に関して、毎日学術フォーラムと打ち合わせをしている理事から、気になる点が指摘された。疑問点を毎日学術フォーラムと再度、打ち合わせをし、確認した上で、契約手続きに入ることとする。契約手続きについては会長、会長代理、事務局長に一任するが、追加で知らせるべきことが生じた場合、理事全員にメールで連絡し共有することで、承認された。

#### 2. 日本学術会議協力学術研究団体への登録について

丸尾理事の調査により、513名中290名が研究者であることが確定した。研究者率56.53%である。まだ2名の会員から返事が来ていないが、これをもって申請書、確認書を添えて申請することが承認された。

#### 3. 2022年度絵本学会大会について

大会期日を2022年6月11（土）、12（日）の2日間とし、オンライン開催することが承認された。オンライン開催にあたっては、業者委託も考えていくが、大学のWi-Fi環境をきちんと把握していないと業者委託も必ずしもうまくいくわけではないという意見もだされた。また、2022年度大会については参加費を徴収する方向で検討していく。ほか、大会実行委員会や開催形態の可能性等については、継続審議とすることとなった。

#### 4. 予算案および決算報告の執行時期の変更・修正予算案について

##### 1) 年度の日付の問題について

2019年から2021年度の決算報告および2021年度予算執行日がずれていたことが判明し、丸尾理事が千田監事に問い合わせをしたところ、資料のように監事からの提言が示された。決算案については、すでに承認もされており、遑って修正はせず、予算案のみ4月17日開始から4月1日に修正して、学会NEWSに掲載することが承認された。

##### 2) 業務委託承認後の予算案について

業務委託承認後の予算案を学会ニュースに掲載することが承認された。

#### 5. 新入会手続きの簡便化について

これまで新入会手続きについては、郵送でのやりとりをしてきたが、今後は入会手続き、退会届、変更届のフォームをホームページにアップし、そこから申し込むことができるようにする旨、承認された。

#### 6. 「フォーラム・子どもたちの未来のために」担当者について

今年度は学会から代表者を出すことができない旨を伝え、今後学術団体として承認されることと並行して、学術団体は政治的活動には中立でなければならないことを踏まえ、退会を視野に入れていくことが承認された。

#### 7. 専門委員会の細則変更について（紀要編集委員会）

資料に基づき、紀要編集委員会の細則を、「委員3名以内」を「委員3～5名」に変更し、2021年6月19日から施行することが承認された。

機関誌編集委員会も、予てより3名の委員に加え協力員として、編集担当者を増員して発行にあっていたため、紀要編集委員会の細則に準じて、委員の人数を増やすことがあわせて承認された。

#### 8. 学会NEWSのレイアウトについて

馬見塚広報委員長より、学会NEWSのレイアウトをWordでできないかという提案が、資料とともに示され、今後Wordで作成していくことが承認された。

#### 9. 入・退会について (2021.5.31-6.19)

事務局にメールで申し込みがあった以下の2名について審議され、入会が承認された。

入会者：藤田篤 本田明菜

事務局移転中のため、上記期間以前の申込者については、前事務局からの引き継ぎ資料が届き次第メール審議を行うこととする。

#### ◆ 報告事項

##### 1. 各委員会報告

###### ①企画委員会

・山本委員長より、運営委員メンバーが以下の通り報告された。

委員 神谷友 (絵本研究家)

委員 かわこうせい (静岡文化芸術大学)

###### ②紀要編集委員会

・長野委員長より、運営委員メンバーが以下の通り報告された。委員会規程が改正されたことをうけ、委員5名とする。

委員 有福一昭 (有明教育芸術短期大学)

委員 攪上久子 (お茶の水女子大学大学院)

委員 竹内美紀 (東洋大学)

委員 林浩子 (国立音楽大学)

委員 村中李衣 (ノートルダム清心女子大学)

###### ③機関誌編集委員会

・甲木委員長より、運営委員メンバーが以下の通り報告された。

委員 内田麟太郎 (絵本作家)

委員 澤田精一 (絵本研究家)

委員 陶山恵 (東京工芸大学)

委員 中川理恵子 (白百合女子大学ほか)

委員 宮崎詞美 (横浜美術大学)

###### ④研究委員会

・鈴木委員長より、運営委員メンバーについて以下の通り報告された。

委員 赤羽尚美 (小田原短期大学)

委員 山口恵子 (新潟青陵大学)

・研究助成応募状況について

現在の応募状況はまだ0件であること。6月末の締め切り後、7月14日にメール審議を行う予定であることが報告された。

・2021年度の研究委員会スケジュール予定

2021年度のスケジュールが資料に基づき、報告された。

・2021年度絵本研究会について

12月18日(土) 14:00~16:00 赤羽茂乃さんの講演をオンラインで開催予定であること、また非会員の参加については検討中であることが報告された。

###### ⑤広報委員会

・馬見塚委員長より、運営委員メンバーについて以下の通り報告された。

委員 尹 恵貞 (一橋大学大学院)

委員 松本 由美 (玉川大学)

委員 宮崎 詞美 (横浜美術大学)

・NEWS70号について

NEWS70号の目次案が資料の通り示され、報告された。

・今後の予定

NEWS71、72、73号の発行日程および概要が報告された。また、「絵本学会Who's who」に代わり、新企画として「絵本美術館の紹介」を企画している旨が報告された。

###### ⑥日本絵本研究賞運営委員会

・水島委員長より、運営委員メンバーについて以下の通り報告された。

委員 鈴木穂波 (研究委員会委員長)

委員 永田桂子 (京都女子大学大学院/非常勤講師)

委員 長野麻子 (紀要編集委員会委員長)

委員 森覚 (大正大学/非常勤講師)

これらのメンバーに加え、絵本学会として藤本会長も加わって選考をしていくこととなった。

・今後の課題として、学術団体に登録された場合、委員の選定についても検討しなければいけない旨が報告された。

## 理事会メール審議議事録 (7-8月)

### 2. 事務局より

#### ・事務局移転状況について

通帳や印鑑など一部の荷物が18日に藤本会長のもとに届き、そのほかの荷物に関しては21日頃に届く予定であることが報告された。

#### ・委員の委嘱状について

各委員会の理事以外の委嘱委員については、藤本会長が委嘱状を作成し、事務局からメールで送ることが報告された。

#### ・次回（第2回）および次々回の理事会予定

現時点で、以下のように予定をし、近くなった時点で再度日程の調整を行うこととする。

第2回 2021年9月18日（土）頃 14：00～ 於：オンライン

第3回 2021年12月19日（日）頃 14：00～ 於：オンライン

### 2021年理事会 第1回メール審議議事録

日 時：2021年7月4日（日）発信

回 答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）

佐々木由美子（事務局長）

甲木善久 鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久

水島尚喜 宮崎詞美 山本美希

#### ◆審議事項

##### 1. 新入会員について（2021年1月～6月）

以下の新入会者（敬称略）が承認された。

入会者：米川泉子、鄭平陽、平林恵美 計3名

---

### 2021年理事会 第2回メール審議議事録

日 時：2021年7月8日（火）発信

回 答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）

佐々木由美子（事務局長） 甲木善久

鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久 宮崎詞美

山本美希

#### ◆審議事項

##### 1. 絵本学会研究助成審査結果について

研究委員会・鈴木委員長より、応募が1件あり、審査の結果不採択としたいという案が示され、承認された。その際、研究助成のあり方についてや、申請書の改定、助成金の増額等について意見がだされ、検討することになった。

---

### 2021年理事会 第3回メール審議議事録

日 時：2021年7月20日（火）発信

回 答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）

佐々木由美子（事務局長） 甲木善久

鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久 宮崎詞美

山本美希

◆審議事項

1. 新入会員について

以下の新入会者（敬称略）が承認された。

入会者：

正会員 井岡 瑞日 1名

準会員b Zhang Qiaolu (チャン・チャオル)

新居直美

張政婷 (チャン・チェンテ) 3名

計4名

2. 除籍者について

以下の会員（敬称略）の除籍が承認された。

大沼郁子、岡野尚子、チョウ・ジョテイ、

丸岡慎一、山崎三英子、林しょういん

計6名

3. 後援依頼について

以下の2件の後援依頼が承認された。

・軽井沢絵本の森美術館の秋冬展 (2021.10.15-1.10)

・安曇野ちひろ美術館・ちひろ美術館 (2021.9.11-11.30、10.2-2022.1.16)

---

2021年理事会 第4回メール審議議事録

日時：2021年8月2日（月）発信

回答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）

佐々木由美子（事務局長） 甲木善久 鈴木穂波

長野麻子 馬見塚昭久 水島尚喜 宮崎詞美

山本美希

◆審議事項

1. 新入会員について

以下の新入会者（敬称略）が承認された。

入会者：

正会員 上倉あゆ子、福吉里加子、豊留理紗、

樋口智子 4名

準会員 a: 曾子安 1名

計5名

---

2021年理事会 第5回メール審議議事録

日時：2021年9月1日（水）発信

回答：藤本朝巳（会長） 丸尾美保（会長代理）

佐々木由美子（事務局長） 甲木善久

鈴木穂波 長野麻子 馬見塚昭久 宮崎詞美

山本美希

◆審議事項

1. 新入会員について

以下の新入会者（敬称略）が承認された。

入会者：

正会員 三住知恵子 仁平義明

黒岩茉由 増田梨花 4名

準会員b 新名洋美 梅野愛子 2名

計6名

2. 退会者 池田彩実（2021年度末をもって退会）

計1名



イラスト：井之口真央

## 新入会員の自己紹介コーナー

### 牛渡 淳

(仙台白百合女子大学 教授)

はじめまして。牛渡淳(うしわたじゅん)と申します。専門は教育学と児童文化、子ども観研究です。仙台白百合女子大学では25年にわたって「児童文化論」を担当し、世界の名作絵本15冊を取り上げて、作者、ストーリー、テーマ、絵、造形、子どもと大人の視点、から分析しています。絵本は総合芸術であり、様々な学問や立場から研究できるので大変面白いですね。特にアメリカの絵本作家や子ども観について研究しています。例えば、以前、「サブダの「しかけ絵本」をどう評価するかーロバート・サブダの「しかけ絵本」の特色と課題ー」という論文を本学の紀要に載せました。現在、アメリカの絵本作家(シェル・シルヴァースタイン)や児童文学の挿絵画家(マックスフィールド・パリッシュ)について研究をしています。なお、アメリカの子ども観については『アメリカ映画におけるこどものイメージ』(東信堂)を翻訳出版しています。また、最近、韓国の絵本に注目しています。

### 三住 知恵子

(神戸元町子ども専門学校 講師)

この度、絵本学会に入会させて頂きました三住知恵子と申します。神戸市内の保育養成校で、造形表現を担当しております。これまで、養成校の学生や保育者向けの絵本を共作で2作ほど創作し、その中で絵を担当してきました。

以前保育者をしていた頃は、1日1冊新しい絵本との出会いを子どもたちと毎日楽しみながら、絵本の世界に入り演じる面白さや、ごっこ遊びを楽しむ経験から「表現する」ことの奥深さや大切さを味わってきました。絵本学会では更なる学びを得たいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

### 仁平 義明

(星槎大学大学院教育学研究科 教授)

大学公認サークル「星槎横浜絵本研究会」の顧問をしています。Zoomで年4回開催・会費無料、大学外の方も自由に参加できます。私も「絵本研究法入門」というコーナーで話をします：「ことばの発達を促進する絵本読みの条件」(第2回)、「ことばの発達を促進する絵本側の条件」(第3回)、「アメリカ版『100冊の絵本』」(第4回)、「絵本研究6つのテーマーいぬが主人公の絵本『ゆうたくんちのいばりいぬ』シリーズ、『アンジュール』からー」(第5回)、「エリック・カール、ビル・マーチン Jr.『Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?』ー思想と表現の『共進化』ー」(第6回)。専門は心理学ですが、動物研究が趣味です：「かけもちイヌ・かけもちネコ(『ヒトと動物の関係学会誌』2020、Vol.57)、「自動車学校で学習したクラス」(日本エッセイストクラブ編『'96版ベスト・エッセイ集ー父と母の昔話』文藝春秋)。

### 福吉 里加子

(菊池市立図書館司書〔泗水図書館勤務〕・熊日童話会会員)

はじめまして、この度絵本学会に入会しました福吉里加子と申します。

私の絵本との関わりは、鹿児島女子短期大学で椋鳩十先生に児童文学を学んだことに遡ります。その後、結婚・出産を経て、居を構えた熊本県菊池市泗水町に、新しく図書館が開館すると知り、当時は子育て真っ最中でしたが、学生時代の夢を叶えたいと図書館司書になりました。絵本を読む子どもたちの姿を、母のまなざしでカウンターに座っていた30代。勤務するかたわら、創作童話活動や絵本出版。また指定管理制度が導入される中、NPO法人設立・指定管理館長・新図書館準備室・副館長等の経験を経て退職しましたが、翌日からは泗水図書館司書として好きな仕事を続けております。年は重ねましたが、原点に戻り「絵本の持つ力」を、さらに学びたいと思うようになりました。現在は、昔ばなしに興味があり学んでいるところです。どうぞよろしくお願いたします。

## 広報委員会企画『春に贈る一冊の 絵本』募集のお知らせ

様々な絵本の選定リストがある中で、絵本学会員が選ぶ、絵本学会員のための絵本とは、どんなものなのか悩みましたが、やはり、絵本学会NEWS72号が出る春に纏わるテーマ『春に贈る一冊の絵本』になりました。

春に、あなたの思いに添えて贈りたい一冊の絵本を、ぜひご紹介ください。とどける相手は、たった一人でも大勢でも、老若男女問わず、幸せを願わずにはいられない、大切な誰かです。絵本学会の会員同士の交流が思うようにできない今、大切な誰かの春に贈りたい絵本の情報をシェアしてみませんか？

<https://forms.gle/Q4uLX618DfkibAop8>



## 絵本学会イラストレーション 募集のお知らせ

絵本学会NEWSに掲載するカットイラストレーションを募集しています。

ご協力いただける方は、ehongakkai.kouhou@gmail.comまでメールでお知らせください。

改めて、広報委員会より詳細についてご連絡させていただきます。

## 編集後記

・新型コロナウイルスの感染状況も少し落ち着いてきたようですが、まだまだ油断はできませんね。冒頭の記事にありますように、「第25回 絵本学会大会」はオンラインでの開催となりました。皆様どうぞご予定ください。今号も盛りだくさんの内容となりました。絵本学会の活力をお楽しみいただけましたら幸いです。執筆者の皆様、ありがとうございました。（馬見塚昭久）

・2021年、いろいろなことがありました。鬼やネズミに笑われても良いのです。心より願っています。来年は良い年になりますように。今号もご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。（宮崎詞美）

・日々喧騒の中で過ごして、いつまでも秋らしくならないと思っていましたが、季節はいつの間にか進んで、美しい紅葉の便りが聞かれるようになりました。次に編集後記を描くのは桜の便りを心待ちにするころ。次回こそは自然の歩みに気づく余裕を持ちたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。（松本由美）

・編集担当になり2号目です。まだまだ不慣れですが、読みやすく充実したNEWSをお届けしたく思っております。また、「第25回 絵本学会大会」のお知らせがあります。どうぞ、よろしく願いいたします。（尹恵貞）